

総合生殖医療センター

1. 概要

当院で体外受精などの生殖補助医療（ART）がスタートしたのは 1996年であり、2016年に20周年を迎えた。当院でのARTにより少なくとも2015年までに933人の赤ちゃんが誕生したが、最近では数値的な実績だけでなく、タイムラプスインキュベーターの世界初全例導入をはじめ、「最先端の生殖医療を東三河に」を合言葉に、健全な家族形成を地域での医療で完結するという生殖周産期医療の理想を旗印として、関連する医師やコ・メディカルスタッフが集結して、生まれてくる子どものことを第一に考えた基本軸のしっかりした医療を実践すべく、難しいケースにも的確に対応できるよう日々研鑽を重ねている。

（センター長 安藤 寿夫）